

第1回利活用WGの報告

利活用ワーキングの内容

- ・現状と課題等
- ・利活用ワーキングの進め方
- ・R6社会実験に向けて
- ・ゾーン分けについて

第1回利活用WGの報告

利活用ワーキングの進め方 検討の内容

- ・安全安心で歩きやすい歩道空間の創出
- ・くつろぎの空間創出
- ・公共空間等のイベント活用などの視点

利活用可能な空間の創出

- ・歩行者・自転車・自動車の交通
- ・公共交通等
- ・沿道の商業活動への影響などの視点

円滑な社会生活や事業運営に不可欠な空間の確保

- 心地よい時間（とき）を過ごせる街並み（滞在性の向上）
 - 賑わいがあり心躍る街並み（賑わいの演出）
 - 個性的な触れ合いのある街並み
- などに向けた

「ゾーンごとの街並みづくりイメージ」「街並み活用戦略」

(R6検討事項)

ゾーンごとの活用のあり方を検討する

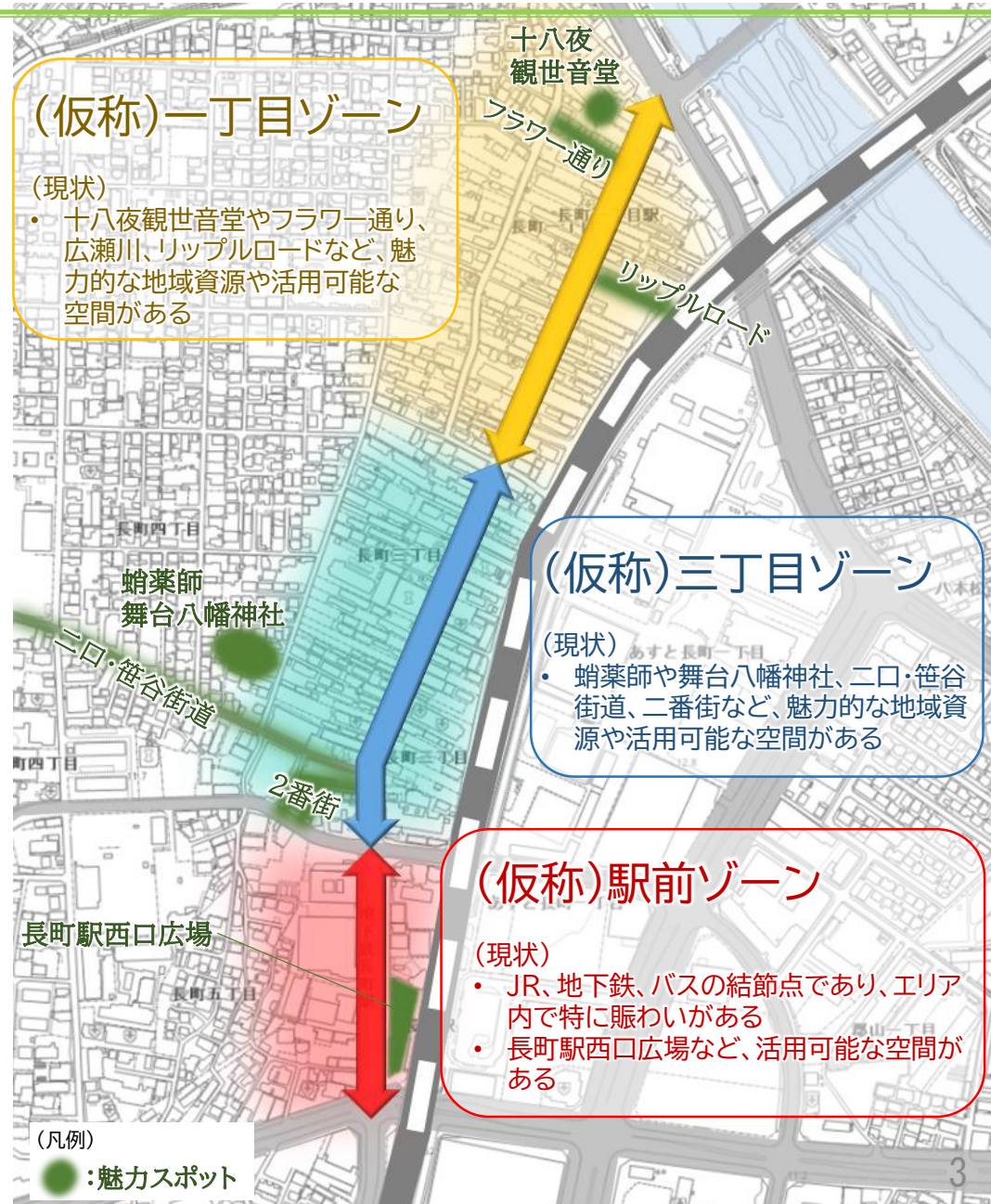
第1回利活用WGの報告

ゾーン分けについて

- ◆ 約1kmと南北に長いエリアについて、各ゾーンがそれぞれ異なる魅力・資源・ポテンシャルを持っている。
- ◆ ゾーンごとの特性をさらに掘り下げ、それぞれの個性を生かした目指すべき方向性について、検討していく。
- ◆ ゾーンごとの目指すべき方向性について、必要に応じてゾーン数や分け方の見直し、魅力を発信するためのゾーン名称等も含め、検討を進める。

(検討の方向性の例)

- 歩行者、自転車、自動車の動線分離
- ベンチやテーブル、植栽の設置など、くつろぎの空間創出
- 長町駅西口広場の一部芝生化など、既存施設の滞在性向上
- シェアリングモビリティの活用など、回遊性向上
- 長町駅西口広場等の公共空間のイベント活用
- 空き店舗・空き地の活用などによる賑わいの創出
- 既存資源の活用、長町らしさの創出



第1回利活用ワーキングの意見等(一部)

目指すまちの姿・目指す通りの姿

- 歩道の活用により、歩いて楽しいを生み、その中で交流が生まれていく心躍るようなワクワク感を作っていこうというのがこの街の将来像

安全・安心

- 歩道空間がせまく、自転車が歩道に乗り上げ、危険
- 安全を確保しつつ、自転車の店への立ち寄りなど賑わい創出を図る

快適・滞在

- 座れる環境、居心地がいい環境が必要
- 商店街の街中で、こどもも遊んで楽しんで快適に1日過ごせるようにしたい
- 回遊するための駐車スペースの確保

賑わい・ワクワク

- 賑わいのために、利活用可能な空間を創出しなければならない
- 多様な主体が、やりたいと思ったことを長町で実現できるとよい

詳細は議事概要をご確認ください